

■児童・生徒の学力の状況

- 「板橋区学習ふりかえり調査」及び「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から、国語では「書く能力」と「言語についての知識」、数学では「数量関係」、英語では「単語を書く力」と「時制をとまなう文法を問う問題」の分野の平均正答率が低い。
- 学習に対して自ら進んで取り組もうとする姿勢は見られるが、積極性に欠ける生徒もいるため、個別に支援が必要な場合もある。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 教員間で基本的な授業規律を共通理解し、実践を重ねる必要がある。
- 生徒が意欲的に取り組むことのできる教材作成の工夫が必要である。
- ICT機器を活用した授業実践の導入に対して教員間に差があるため、研修を取り入れる。
- 学校での学習活動と家庭での学習活動との関連を図り、家庭学習を定着させる。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

- 教師と生徒の信頼関係を築き、授業に対しては、高い意欲、良い態度で臨ませる。
- 「板橋区 授業スタンダード」に基づいた授業を行い、生徒の学習意欲と学力の向上を図る。
- 授業中の規律とマナーを身に付ける。
- 意欲的に学ぶ姿勢をはぐくむ。
- 授業の質の向上を目指し、基礎学力向上を目指す。
- 授業評価を生かし、意欲を高める授業づくりに努める。
- 学習活動全体の計画の中に補習を位置付け、有効活用を図る。また、家庭学習の定着を図る。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探究型の授業	協働学習の導入	指導と評価と支援の一体化
○授業において、既習の知識や技能などを働かせ、課題を認識し、情報を収集・分析するなどして、課題解決に取り組み、新たな知識や技能を身に付ける場面を設定する。	○ICT機器を効果的に活用し、生徒同士による意見交換や発表などを通して思考力、判断力、表現力などお互いを高め合う学びの場面を設定する。	☆毎時間の「本時のねらい」を明確に示し、授業の終わりに振り返らせ学習したことを確かめさせる。

(☆は、学びのエリアで共通)

■板橋区教育委員会グランドデザイン2018の実現に向けた取組

確かな学力の定着	教員の指導力向上	豊かな心と健やかな体の育成	社会に開かれた教育課程の実現等
☆毎時間の「本時のねらい」を明示し、授業の終わりに振り返らせ「板橋区 授業スタンダード」に基づいた授業を行う。 ○学力に関する調査の結果や生徒・保護者の授業アンケート等を活用し、指導方法や教材の工夫改善に努め、学力の向上を図る。 ○数学科において、習熟度別少人数指導、国語科においてチームティーチングを実施する。	○学力の定着を図る授業の実現に向けて、ICT機器を効果的に活用した授業について校内で研究を行う。 ○校内研修担当を中心として全教員が年2回の授業研究を実施し、研究協議を行い指導力向上を図る。	○道徳の教科科に向け、思いやり、感謝を重点項目とし道徳教育推進教師を中心に判断力、実践力を育てるような授業を実践する。 ○オリンピック・パラリンピック教育推進重点校としていたばしの5つの取組より「ふれあう」を柱として、体験型学習を計画する。 ○通級指導学級と併設していることを活用し、特別支援学級の視点に立った教育活動を推進する。	○「家庭学習の手引き」を配付し、家庭と連携を図る。 ○幼小中連携事業の成果を生かし、交流活動、教科の接続等に努め、小中一貫教育を推進する。 ○学校支援本部との連携を進め、「iCS」の実施を視野に、学校運営協議会で意見を集約する。

(☆は、学びのエリアで共通)

【平成30年度 授業改善推進プラン(各教科)】

板橋区立高島第二中学校

【国語】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度は真面目であるが、積極的に思考し、自分の考えを発表する生徒は少ない。 ・自分の意見をまとめ、書くことに対して苦手意識をもっている生徒が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、自分の経験と重ね合わせて考え、自分なりの意見をまとめて人に伝わるように述べられるようにすること。 ・文章の内容についての理解を深められるような、論理的な思考力を身に付けさせること。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をまとめる時間を十分にとった上で、協働的に考える時間を確保し、他者の意見を聞いて考えを広げ、発表等につなげる。 ・文章の展開や文末表現に着目しながら、筆者の主張を読み取る授業を展開する。

【社会】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対して真面目に取り組もうとしている。 ・教材の忘れ物が少数みられるが、毎時間の点検や注意を受けて改善してきている。 ・社会科に興味関心をもち、発言をしたり、ノートを工夫するなど、主体的に学習に取り組む生徒も増えてきている。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着をする。 ・興味関心の喚起や、主体的な学習への工夫をする。 ・生徒が自ら課題を設定したり、思考判断する学習活動を設定する。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい授業を心がけ、繰り返し学習して基礎・基本の定着を図る。 ・視聴覚教材や各種資料を提示し、興味関心を喚起する。 ・現実の社会とのつながりをもたせ、生徒が自ら考えたり、考えを表現するなど、様々な学習活動を工夫する。

【数学】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律は概ね守られているが、基礎的な計算力や数学の用語の習得が不十分な生徒が多い。 ・自分の考えを発表することが苦手な生徒も多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着の徹底をすること。 ・主体的な学びのために、興味・関心を高める授業研究の推進を目指す。 ・数学科における言語活動の充実を図る。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動を多く取り入れた授業展開を心がけ、主体的に学ぶ学習態度を体得させる。 ・「聞く」「考える」「発表する」という一連の流れを授業展開の基盤として、自分の考えを口頭、文書、式で正しく、伝えられる「表現力」を身に付けさせる。 ・ICTを用いた授業及び協働学習の有効性を検証しながら、適切に電子黒板等を活用する。

【理科】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の基本的な規律は整っている。実験への取り組みなどは積極的であり、知的好奇心をもって授業に臨むことができている。 ・3年は落ち着いて静かに授業に取り組んでいる。 ・2年は落ち着いており、実験観察にも意欲的に取り組むことができている。 ・1年は積極的に授業に取り組み、発言も非常に活発である。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的な思考と表現に課題がある。論理的思考ができるような実験の手順とまとめの実施。理由などを文章で表現する機会を多くとり、自信をもって自分の考えを述べるができる環境作りが必要である。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを有効に活用することで、以下の3点を達成する。 <ol style="list-style-type: none"> ①直感的に見て分かる説明をおこなう。 ②教師の説明時間を短縮し、生徒の考える時間を長くとる。 ③最新の科学ニュースなどを取り上げ、科学に対する興味関心をひく。

【音楽】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動(特に合唱表現)に意欲的で、音楽的な表現を創意工夫をすることの難しさを感じつつ、より深い表現活動ができるように努力する生徒が多い。 ・表現・鑑賞を問わず、学年が進むにつれ、意欲的に取り組む生徒と受け身になる生徒が二極化する傾向にある。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な表現の仕方を学ばせるにあたって、表現や鑑賞の内容を相互に関連させて、さまざまな音楽に触れたり、体験したりする活動を増やす。 ・表現活動において、基礎的な表現の技能を高め、自信をもたせると同時に、工夫したいことや曲想を引き出すための発問や授業内の話し合いを充実させる。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現・鑑賞の授業において、生徒同士で話し合いながら音楽表現の創意工夫について考えられるようなワークシートを工夫する。 ・教師から提示する「めあて」だけでなく、生徒自身が「目標」をたて、どれだけ達成できたかを授業時間や単元の終わりに、振り返らせる。

【美術】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作に意欲的に取り組む生徒が多い。 ・しかし制作スピードが停滞ぎみで、完成への見通しをもって制作できない。 ・上記の理由により、作品の完成度が高くない。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・完成への見通しがもてるように毎時間の目標を明確にし、目標が達成できない場合は居残り等で適宜追いつくようにする。 ・完成図がわかりやすいように下絵やアイデアスケッチをしっかりと制作させる。
<p>■授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の目標を明確にする。 ・分かりやすいわかりやすい授業とするために板書やプリントの工夫をする。 ・毎時間授業カードを記入させ、ふりかえりとする。

【保健体育】

■生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・男子については、持久力と走力が低い傾向にある。 ・女子については、瞬発力と投力が低い傾向にある。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容及び指導方法を工夫すること。 ・不足している体力向上トレーニングを実施する。 ・話し合いや考えを深める時間を確保する。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に運動に取り組めるよう、指導内容及び指導方法を工夫する。 ・生徒の体力の向上を図るトレーニングを実施する。 ・生徒が個人、ペア、グループ等で話し合い、考えを深める時間を確保する。

【技術・家庭】

■生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・通常教室よりもパソコン室・木工室・金工室での授業を好み、作品の製作には熱心である。 ・授業中は生徒どおしでの教え合いや補助を協力的に行うことができる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業では問題ないが、実習で個別に相談や指導をしているときに他の生徒に目が行き届かないことがある。 ・班長や早くできた生徒を実習リーダーとして育てることを目標とする。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用をもっと有効に利用し、より分かりやすい授業を目指す。具体的には製作手順にpreziを使い動画や写真を載せる。

【外国語】

■生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・真面目に授業に取り組む生徒が多い。 ・活動に対して他と協力して積極的に取り組む。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・能力の個人差があり、特に「書くこと」に対して大きい。 ・英語を話すことに対して不安をもつ生徒もいる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも理解しやすく、活動に参加できるような工夫を行う。(教材の視覚的な提示、授業のねらいと流れの提示など) ・ペアやグループ活動を多く取り入れ、コミュニケーション能力の向上を図る。 ・受容的な態度で生徒に接し、安心して授業に参加できるような雰囲気をつくる。

【総合的な学習の時間】

■生徒の状況	これまでに修得してきた知識や技能を生かし、未知の事柄や課題について調べようとする姿勢がある。しかし主体的に発言したり、調べたりすることに課題が残る。
■指導についての課題	生徒自身が主体的に取り組みやすい課題を設定する。調べ学習、協働学習(知識の共有、作業の共同等)を実施し、言語活動の充実を図る。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	生徒自らが調査・訪問・体験・発表を行うことで、自らが考えさせる授業を展開する。また主体的に活動を行うことにより、生徒自身がより理解を深めることができるような授業を目指す。

○ その他(言語活動の充実等)

<ul style="list-style-type: none">・国語科を中心に言語能力の育成を図り、全ての教科に置いて言語活動を充実させる。・朝読書への取組で読書に親しむ態度を育てるとともに、図書室の整備充実を図り読書活動を推進する。・生活委員会のあいさつ運動などを通して、日常の生活の中できちんとしたあいさつや言葉遣いができるようにする。・各教科や総合的な学習の時間などの調べ学習と発表活動などで、表現力・発表力の育成を図る。
--